

		第406号	発行
		2025年	千葉県労働組合連合会
		9月21日	〒260-0854 千葉市中央区長洲1-10-8 自治体福祉センター3F
			電話 043 (225) 5576 FAX 043 (221) 0138 発行人 寺田 勝弘 定価20円
ホームページ http://chibarouren.org/ メール chibarouren@axel.ocn.ne.jp			

第 406 号 URL 版 2025 年 9 月 30 日
発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター
電話 043 (225) 5576 FAX 043 (221) 0138
発行人 寺田勝弘 定価 20 円

【1 面】



千葉労連第 37 回定期大会の議案提案

『対話と学び合 いで』 組織強化を 第37回千葉労連定期

大会

9 月 7 日、千葉県教育会館にて開催された千葉労連第 37 回定期大会には、代議員、役員、来賓含め 162 人が出席しました。5 団体からの特別発言と、13 人の代議員からの活発な発言により 25 年度運動方針がより深められ、全議案が賛成多数で採択されました。25 年度の新たな役員も選出されました。

今大会は議長団に東葛労連の青木代議員、自治労連の早川代議員を選出し、寺田議長のあいさつ【要旨別掲】の後、来賓の石川全労連副議長、中央労金千葉支店の川波支店長が激励のあいさつをしました。

議案提案は、矢澤事務局長による 25 年度運動方針（案）、日暮事務局次長による財政方針・予算（案）があり、高橋会計監査から監査報告がされました。

午前中の最後の議事として千葉労連争議団紹介があり、各争議の報告と争議団決議案の提案・採択がされました。

午後からは、特別発言として千葉労連の次年度方針の重点課題について、5 団体と【要旨別掲】、全体討論では 13 人の代議員から、方針を補強する発言【要旨別掲】がありました。

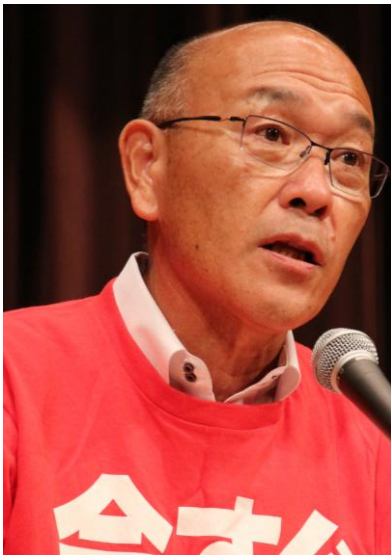
討論のまとめとして、矢澤事務局長より「すべての発言が次年度方針を補強し、これからの運動の方向性について確信が持てる内容だった。課題や要求は多くあるが、それに応えられる千葉労連にするた

めに、今後 1 年間は組織強化に力を入れたい」と総括総弁。その後の採択では全議案が賛成多数で可決されました。

続く役員選挙では、立候補した候補者全員が信任され新役員が選出されました。「ジェンダー平等と大幅賃上げを実現しよう、戦後 80 年続いた平和を守り戦争する国づくりを止めよう、切り拓こう！新しいなかまを増やし要求実現と組織強化を」のスローガンを確認し、団結がんばろうを三唱して閉会しました。

労働組合に結集し団結

寺田議長のあいさつ



千葉労連・寺田勝弘議長

寺田議長は、冒頭、主催者を代表し大会議案の 3 つのスローガンに関連してあいさつをしました。

「戦後 80 年続いた平和を守り戦争する国づくりを止めよう」について、戦後 80 年の今も、被爆者や「戦争トラウマ」に苦しむ戦争体験者や 2 世、3 世までもが苦しんでいます。本当の意味で日本は戦争を反省していません。

労働組合が積極的に「平和教育」に取り組むことを訴えました。

「新しいなかまを増やし要求実現と組織強化を」について、25 春闘の特徴として、医療や介護職場で働く労働者の賃上げは極めて低い、非正規労働者の賃金の伸び悩み、そんな中、初任給の引き上げがありました。しかし、一方で中高年の賃上げが抑制され、分断を持ち込む資本者階級に立ち向かおう。それらの課題のために「対話と学びあい」を中心にし、現場労働者に寄り添い、要求実現のための行動を一緒にしようと、呼びかけました。

「ジェンダー平等と大幅賃上げを実現しよう」について、家庭での女性の働きは労働とすら認められず、女性の賃金は男性よりも低い。家庭の責任を女性に押しつける男性労働者がモデルとされ、根本的な女性差別により、この社会は成り立っている。

ジェンダー平等が実現する社会のため、千葉県では 1140 円となった最低賃金の引上げの運動をさらに強めることを呼びかけました。

特別発言(要旨)

ケア労働者の賃金底上げを実現する年に 医労連 中村和代さん

医労連は中長期的目標を持ち要求を前進させると、医労連の大会で確認した。新自由主義が医療・福祉でさえも儲けの対象にしようとしている。人の命と健康、医療、介護、福祉は相反する所にある。国や自治体が公的に責任を持つべきだ。国は財政とケア労働者の待遇補償すべきだ。25 年度は県に県のケア労働者の賃金底上げを実現する財政措置を要求し、実現する 1 年にしていきたい。

年金問題の解消へ 年金者組合 麻生定雄さん

年金問題は高齢化社会と密接に結び付いている。マクロ経済スライドで年金は物価と賃金に関係する。女性の低年金問題もある。年金の支給日に商業施設前で年金を上げると駅頭活動もしている。年金問題を解消するため署名もしている。11・2 に年金フェスタ in 千葉 2025 を開催する。

給特法の改悪反対 全教千葉 吉井広人さん

給特法により残業代の出ない定額働かせ放題という働かせ方が問題だ。今年改定されたが、処遇改善と言いつつ基本給を下げる職階制度も組み込まれている。現場の仕事量が飽和状態にあり、過労死リスクが増える恐れがある。選考試験の倍率が 3 倍だ。分断政策をさせずに、教師という専門職の誇りを取り戻したい。

自治体の非正規職員の現状と今後 自治労連千葉県本部 細田文夫さん

非正規職員は会計年度職員として県内では 3 割が働いている。非正規職員の待遇は多少改善はされたが、不十分だ。自治労連が主体でアンケートをし、国に要望を何度も出した結果、国の姿勢が変わった。千葉労連の自治体キャラバンでも非正規職員の改善に取り組んだ。

建設従事者を苦しめるインボイス廃止 千葉土建 竹内伸之さん

物価高で原材料の高騰、高熱費や物流費の上昇、円安による輸入コスト増を背景に、幅広い品目でこれからも値上げが継続している。大企業は法人税を優遇。千葉土建の上部団体の全建総連では、インボイス制度の見直しと負担軽減措置の延長を求め 60 万人署名に取り組んだ。千葉土建では現在、2 万筆の署名を集めている。建設従事者の切実な声を国へ届け、安心して事業を営みたい。

9 月 21 日放送の大河
ドラマ「べらぼう」で
戯作者・恋川春町、駿
河小島藩士・倉橋格の
最後が描かれた。権力者による文化弾圧の犠牲だが、封建社会における武士の生き様を考えさせられた。身分制によって、役割分担が明確に決められていた社会では、その枠を個人では簡単には乗り越えられなかったということだろう。「分をわきまえる」とは、封建社会では、身分をわきまえることで、武士と戯作者の「分をわきまえる」ことの困難さと落とし所の苦悩が伝わってきた▼今の時代でもそれぞれの立場を代表するようなソーシャルな場では、分をわきまえてしまうことがある。立場をわきまえつつ、忸度しない生き様を模索したい。



【2 面】

代議員の発言(要旨)

悪徳ファンドとのたたかい 東葛労連 土屋浩志さん

昭和ゴム労働組合は長年にわたる低賃金、昇給停止、賞与減額などに対しストライキや抗議集会を粘り強く継続している。資金還流を監視、反対する労働組合に対し様々な不当労働行為を行ってきた。土地問題では昭和ホールディングスが 2015 年に柏工場がある土地を 20 年間の事業用定期借地権で売却している。今年 8 月で、残り 10 年をきり、満期には更地にしないといけない。9 月 17 日、東京都労働員会の証人尋問傍聴参加の呼びかけた。

懲戒解雇撤回復職へ 千葉私教連 鈴木和則さん

鎌形学園では私立だが、給特法に準じて 4% 払っているので時間外手当は払わない。就業規則になっている。それに対し、東金労基署は「公立と市立は違う。当然、私立は民間と同じ時間外を払うべきだと、平成 26 年には是正勧告を出した。団交を行い払うべきだと交渉。しかし、学園は不誠実な対応を繰

り返し、一度切の団交で最終的に理事側は全教員に対し、一方的に 28 ケ月分の未払い賃金を支払った。その後、団交に応じず、話し合いは一度きりで終了。懲戒解雇事案の裁判で、解雇無効が認められたにも関わらず、学校側は人事権を主張し復職を認めず、労働委員会に申し立てをし、和解が成立し復職を果たせた。

建設アスベスト訴訟 千葉土建 小山武さん

2008 年 5 月東京、埼玉、千葉の建設従事者が東京地裁に建設アスベスト訴訟を提起。裁判の長期化で、和解に応じ建材メーカーの謝罪を受け入れた被害者は約 9 割となった。今も 3 次・4 次訴訟でたたかう原告がおり、今年 11 月には個人訴訟が東京地裁で始まる。組合は建材メーカー自らの責任を認め、被害者への謝罪を込めて補償基金拠出し、建設アスベスト給付機法を改正して被害者が救済されるよう基金創設に向け、引き続き運動を強化していく方針だ。

不利益変更許さない 千葉地区労 須藤猛裕さん

千葉地区労に加盟する千葉勤医労は、千葉民医連・千葉勤医協理事会による賃下げを目的とした就業規則の不利益変更とたたかっている。労働組合のなかまや関係団体の力強いご支援により、延期させた。しかし再び、理事会は意見を変えずに経営危機への対応策は従業員の賃下げのみとしている。今年 12 月から労働組合とも、従業員との個別同意がないまま不利益変更を労働者代表の意見調書だけで強行しようとしている。

組合員の増勢を 千葉土建 上野昇さん

4 年連続組合員が減少した。8 月から 11 月を秋の拡大月間として、1130 人の拡大目標を掲げ組織拡大に取り組んでいる。拡大学習会を行い、駅頭で宣伝行動や事業所訪問をはじめ、多くの組合員と家族が拡大行動を展開している。最新の組合員は、16 支部中 11 支部が前回の数字を上回り、全県で現在約 100 人の増員となった。早期に 2 万 3 千人規模の回復をさせ、5 万人の千葉労連になるように奮闘していきたい。

地域労連の活動 松戸労連 西尾一登さん

松戸労連は地域の組合の結集軸となっている。松戸市に対し、春闘要請や千葉労連の自治体キャラバンにも取り組んでいる。昨年は交流会で 25 人集まった。松戸定期大会・旗開きで、久しぶりになかまが集まった。労働相談も行っている。最大の課題は後継者の育成だ。団体署名と会員加入をお願いしたい。東京電力の電気メーターの請負工事労働者が労働組合を結成。せたがや白梅（福祉作業所）で、机をたたき 550 万円の賠償請求をされた。守る会を立ち上げたので宜しくお願いしたい。

地域運動で社会変革を 船橋労連 石塚政秋さん

地域の労働運動と学習運動の両面を発言する。船橋労連は平和と重税反対と社会保障の運動をしている。地域の要求と運動が社会変革につながる。搾取により、貧困と労働苦と奴隷状態だ。マルクスは理想的な労働状況を提案している。地域と国民の要求を大事にしていきたい。学び、実践し、希望を語り運動を展開したい。

文化活動を軸に平和を 千葉地区労 柳川昌孝さん

平和活動について。千葉労連の機関紙「波濤」に原稿を寄せた。今年の 8 月に千葉の友愛会が構成した朗読劇をし、出演者として参加。被爆者の体験を演じた。うたごえ協議会でも合唱をした。12 月に市川でうたごえ祭典を開催する。東葛合唱団、千葉合唱団、それぞれ戦争が題材だ。東葛合唱団は「象列車」を発表。歌う人も増やしフェスティバルで上演予定だ。千葉合唱団は「花とふるさと」（房総の花づくりの音楽劇）をおこなう。一緒に。

公務・公共分野の拡大 自治労連千葉県本部 鈴木淳さん

公務・公共分野の委託・縮小が進んでいる。学童分野は特にである。国は自治体職員の半減を企む。千時間以上働く職員がいる自治体は 11 自治体で、自治体キャラバンでは超過勤務削減が重要課題となっている。組織拡大では、4 月に船橋市役所の説明会で 200 人が参加。組合への期待をアンケートにしたら、職場の改善が最多だった。地域手当全県一律 4% だ。軒並み引き下げとなる勧告だ。

秋の交渉では人勧を上回る賃上げが重要である。憲法を地方自治に生かし、国民要求を実現させていきたい。

対話と学びあいの実践 福祉保育労 師岡あかねさん

市川市で保育士をしている。対話と学び合いを大切に、オンライン会議では全員が 1 分発言をし雰囲気的大事にしている。また、就業規則などテーマを決め、疑問が出たら中央本部を呼び、学習会をしている。中央本部主催の学習会にも積極的に参加。しかし、組合員数は減少。今後、支部定期大会を開催する予定だ。なかまを増やしのため、今年度も署名活動をする。自然災害で子どもたちの命を守れるか今の配置基準のままで不安だ。保育士不足も深刻である。丁寧な保育を望んでいても、改善されないで、署名をお願いしたい。

ストライキを実施し要求を前進 医労連 岡本大さん

人事院勧告で地域手当の見直しが行われた。千葉医療センター・千葉東病院・下総医療センターでは 3 % 下志津病院では 6 % 『年間で 1 か月分の給与削減』で職員に動揺が広がった。組合は 2 月 28 日と 3 月 13 日にストライキ・アピール行動を行った。勤医労・千葉労連・地域労連の協力のもと各月 2 % 削減のところ 1 % に圧縮出来た。賃金の上がない辛い状況もあり、職場から人材流出があり、防ぐためにも協力してほしい。

官民ともに賃上げを 千葉県国公 山谷修さん

人事院勧告 3・62% 引き上げ 3 % を超えは 34 年ぶり全労連国民春闘共闘に結集した労働者・労働団体がストライキ権確立・権利の行使の奮闘により官民格差が生じ官民一体の春闘が公務の結果にも及んだ。自治体では人勧超えを勝ち取ることが重要である。人勧に準拠する民間の職場・教育・医療にも影響が出てくる。今後は、勧告が国会の場で給与法の制定という議題になる。今月からは各地方自治体の中で人事委員会に対する申し入れ交渉が進む。物価上昇率をカバー出来ていない。最賃改定の取り組みは早期に最低時給 1 5 0 0 円以上に引き上げさせ、秋闘の取り組みは官民一体となり取り組もう。

農業従事者の組織化 農業労連 信川信之助さん

農協では合併が労働組合を排除しながら労使対等の立場を踏みにじり進められている。労組は農協の中では少なく経営者の言いなりだ。労組というよりも職員組合や従業員組合となっていて、労組として組織化することが重要だ。20 代で課長に無理に昇進させ残業代を削るなど農協がブラック企業化し、人は辞め人が来ない所が多くある。この状況を打破するためにも地域労連に協力お願いしたい。